決算特別委員会を設置し、令和7年度各会計の決算を審査しました

決算特別委員会のあらまし

令和８年９月議会において、９月14日から18日までの間、議員全員で構成する決算特別委員会（松尾哲也委員長、森竜子副委員長）を設置し、令和７年度の各会計決算関係議案８件について審査を行いました。

委員会では、財政運営や市役所本庁舎に関すること、不登校対策に関すること、資格取得・就業支援に関することなど、幅広い視点から議論が交わされました。

その後、全会派及び無所属委員全員の積極的な賛同で合意形成が図られ、市長に回答を求めた１件を含む46件の意見・要望を盛り込んだ委員長報告書をとりまとめ、９月議会最終日には全ての各会計決算議案を認定しました。

決算特別委員会で合意形成が図られ市長に回答を求めたもの

行政評価については、市民サービスの維持向上が図られるよう、効果的な指標の在り方などを含め、全庁的に改善を検討されたい。

その他の主な意見・要望（抜粋）

◆介護人材に関すること

介護人材確保事業については、どのような職種でどの程度人材が不足しているのかという調査結果を踏まえて事業を進めることが効果的であることから、介護人材の確保の重要性を認識した上で対策を講じてほしい。

◆夜間中学に関すること

夜間中学については、様々な事情で義務教育を十分に受けられなかった人や外国籍の人たちを受け入れており、今後も趣旨にのっとり鋭意取り組んでほしい。

◆物価高騰に関すること

物価高騰に対する支援策については、物価高騰の最も大きな影響を受けている低所得世帯や小規模事業者への支援の拡充に努めるとともに、抜本的な対策を国に求めてほしい。

◆認知症対策に関すること

認知症サポーター養成講座については、認知症になっても安心して暮らし続けられるまちにするためには周りの理解者を増やしていくことが大切であることから、企業や警察などに随時受講を呼びかけ実施してほしい。

◆水洗化に関すること

水洗化の支援については、水洗化促進キャンペーンが令和８年度で終了するが、生活排水対策は重要であることから、これまでの取組の成果を踏まえ支援策を検討し、排水対策基本計画の目標を達成してほしい。

◆がん検診に関すること

がん検診については、早期発見・早期治療につなげ、死亡リスクを下げることが目的であることから、受診しやすい環境整備や、がんに関する正しい知識の普及啓発を図りながら、引き続き受診率の向上に取り組んでほしい。

◆鳥獣被害に関すること

イノシシ被害については、農業従事者が猟友会や地域おこし協力隊からアドバイスを受ける機会がないことから、交流や意見交換を行う機会を設けてほしい。

（１万円未満四捨五入）

一般会計及び特別会計		歳　入	歳　出
一般会計		633 億 5,179 万円	630 億　504 万円
特別会計	国民健康保険	134 億 9,563 万円	128 億 7,782 万円
	財産区	44 万円	44 万円
	介護保険	133 億 4,808 万円	133 億 3,915 万円
	後期高齢者医療	24 億 8,606 万円	24 億 2,574 万円
	病院事業債管理	15 億 2,944 万円	15 億 2,944 万円
事業会計		**収　入**	**支　出**
水道		24 億 9,486 万円	23 億 5,501 万円
公共下水道		41 億 2,470 万円	36 億　385 万円